

¥0

Free

No.15
2017年夏号



散策 善通寺

ふる里の風景を歩く



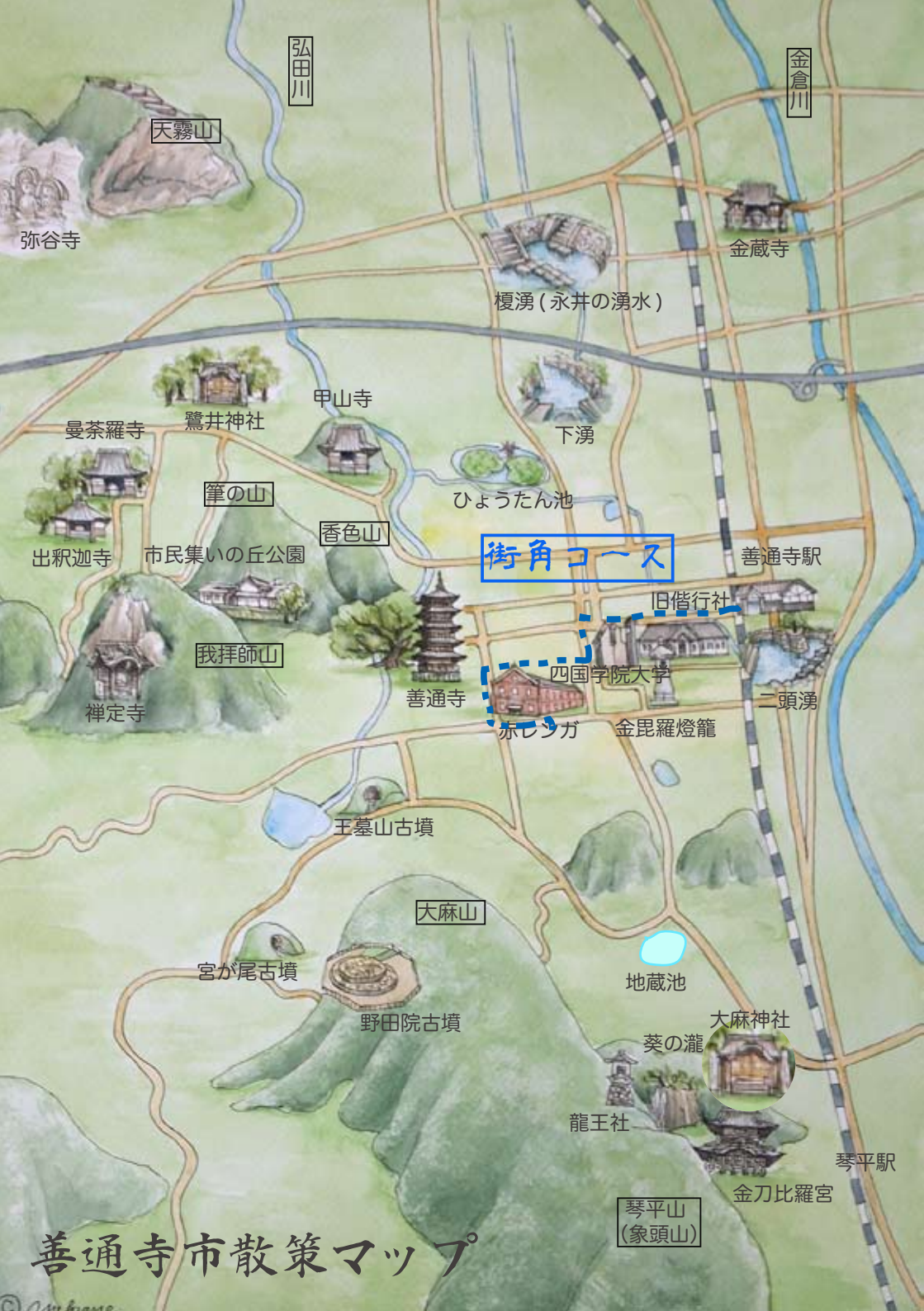
善通寺から
みえる世界遺産
鉄道が交差する街



必携の
散策ガイド

空海の里を
再発見する
特集
今に続く
第十一師団
の軌跡

壱岐湧と道路になった旧路面電車軌道（バスがみえる）



弘田川

金倉川

天霧山

弥谷寺

金蔵寺

榎湧 (永井の湧水)

曼荼羅寺

鷺井神社

甲山寺

下湧

筆の山

ひょうたん池

香色山

街角コース

善通寺駅

出釈迦寺

市民集いの丘公園

旧偕行社

我拝師山

四国学院大学

二頭湧

禅定寺

善通寺

赤レンガ

金毘羅燈籠

王墓山古墳

大麻山

地藏池

宮が尾古墳

野田院古墳

大麻神社

葵の瀧

龍王社

琴平駅

金刀比羅宮

琴平山 (象頭山)

善通寺市散策マップ

大麻山

五岳山

陸上自衛隊 善通寺

土器川

善通寺と丸亀平野（飯野山より）

軍都として栄えた善通寺市

善通寺の門前町として栄えた善通寺市は、日清戦争勝利後に設置された陸軍第11師団によって軍都の道を取り、街の姿は大きく変わりました。第2次世界大戦後は、師団の施設跡地に病院や農業試験場、大学、市役所などの公共施設が置かれ、新しい技術や文化の拠点になりました。現在も活用されている師団施設を巡り、善通寺市発展の歴史を見ていきます。

今に続く第十一師団の軌跡

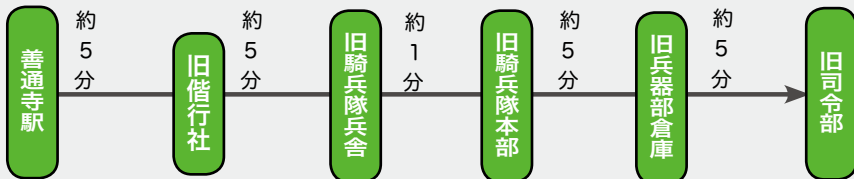
街角コース

明治末に設置された陸軍第11師団は、当時の最先端の技術や文化を善通寺市にもたらしました。街角で今も活用される師団の施設を巡ります。



コース
紹介

街角にみえる軍都の風景



街角コース

第十一師団の軌跡



① JR 善通寺駅 (近代化産業遺産)

現役の土讃線善通寺駅。1889年(明治22年)讃岐鉄道の駅として開業しますが、1922年(大正11年)の陸軍特別大演習で大改修されました。現役では、最古の部類に入ります。



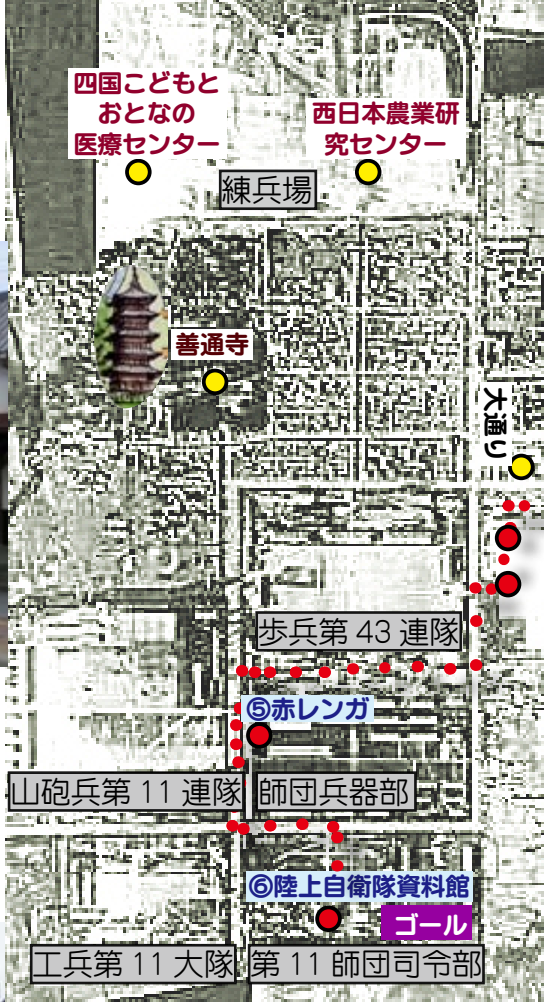
偕行社がふえ

②旧善通寺偕行社 (重要文化財)

1903年(明治36年)に建てられた旧陸軍の将校の集会所でしたが、現在はカフェが附属し、市民が多目的に利用できる社交場になっています。

③旧騎兵第11連隊兵舎

現 四国学院大学の2号館。旧騎兵隊の兵舎は改修され、大学の校舎になっています。映画の撮影にも使われました。





水尾写真館



瀬川酒店

旧国道 319 号
土讃線 (旧讃岐鉄道)



騎兵第 11 連隊
輜重兵第 11 大隊



玄関

⑥旧司令部

現 陸上自衛隊善通寺駐屯地資料館 (乃木館)。1898 年 (明治 31 年) 竣工の洋風建築物で、初代師団長の乃木将軍の部屋があります。見学は平日のみ、団体は要予約。(Tel 62-2311)

善通寺市航空写真(1922年)



④旧騎兵第 11 連隊本部

現 四国学院大学のホワイトハウス。昭和初期の建築物で、こちらも、現在は大学の校舎になっています。



⑤旧兵器部倉庫

現 陸上自衛隊善通寺駐屯地倉庫。赤レンガとも呼ばれるこの建物は、明治から大正に建てられました。街のシンボルです。



街角再発見

鉄道が交差する街

旧陸軍が築いた街の骨組

明治初期、空海が誕生した善通寺の門前町として栄えてきた街並は、大きなものではありませんでした(右図)。当時の香川県の人口が67万人余に対して、善通寺村や龍川村のそれは3~4千人程度だったようです。陸軍第11師団の設置が決定されると、電灯会社が設立され、敷設工事が始まります。1898年(明治31年)に師団が開庁され、国庫金を取り扱う銀行が開業しました。師団設置にあたり、善通寺村は、①港湾に近いこと、②地下水が豊富なこと、③軍事訓練用の山があることなどの兵営地設定の方針を満たしていたのです。



善通寺村 (1873 ~ 75年頃)



鉄道の交差点（JR 踏切付近）



鉄道の交差点（赤門前）

陸軍特別大演習と琴平参宮電鉄

善通寺市に師団が開庁した頃、高松港以外に丸亀港や多度津港も玄関口として機能していました。善通寺には、金倉寺から琴平まで一直線の四国新道（1894年完成）が通り、讃岐鉄道（高松琴平間 1897年完成、後に国鉄土讃線）の善通寺駅が開業していました。当時、同区間の鉄道事業の参入を目論む琴平参宮電鉄は、許可取得に難航していましたが、区間を丸亀善通寺間に変更することで特許が下され、1922年（大正11年）の陸軍特別大演習の記念事業の一つとして当区間（路面電車）を開業しました。翌年、琴平まで延長されますが、師団の要請により軍人の移動や家族との面会の利便性に配慮し、市街地を巡る路線になったといわれます。そのため、琴平、多度津、丸亀へ向かう路線は赤門前で交差していま

した。当路線の案内図には、第11師団の位置や金倉寺の乃木将軍の遺跡が大きく記されています（P10 下図）。

金毘羅宮（現金刀比羅宮）への参拝客輸送には、前述の讃岐鉄道と琴平参宮電鉄の他に、高松と琴平を結ぶ琴平電鉄（現高松琴平電気鉄道）や坂出琴平間の琴平急行電鉄があり、地方では希な過当競争になりました。第2次世界大戦後は、復員兵や物資の買い出しで賑わいましたが、平穏が戻るとバス輸送が躍進しました。その結果、1963年（昭和38年）琴平参宮電鉄の全ての軌道線と鉄道線が廃止されました。これらの軌道は、今も街の道路として地域交通の重要な役割を果たしています。





ティムガッドのローマの道と凱旋門（世界遺産）



ローマの城塞都市（英シルチェスター）

街道へ続く城門跡（英シルチェスター）

街道が交差するローマの都市

アルジェリアのティムガッドは、西暦 100 年頃に古代ローマのトラヤヌス帝が建設した軍事要塞用の植民都市でした。7 世紀頃、ベルベル人の侵攻により廃墟となり、サハラ砂漠の侵食によって 19 世紀まで砂中に埋もれていました。そのため、保存状態がよく、ローマの劇場のほか、公衆浴場や図書館、バシリカ、神殿などの古代ローマの都市を詳細に残します。1982 年に世界遺産に登録されました。

ティムガッドは城塞都市ではありませんが、古代ローマの城塞都市のように（上、絵図参照）、複数の街道の交差点に位置し

ます。通常、街道の出入口には城門が設置され、各地から持ち込まれた物品が取引されました。こうした街道には、しばしば戦勝記念の凱旋門（ティムガッドではトラヤヌス門）が置かれます。

善通寺市にはローマの城塞都市のような構造物はありませんが、師団の設置を契機に、多度津港や丸亀港への往来に便利な鉄道が交差する街になりました。第 11 師団師団は、日露戦争で乃木將軍率いる第 3 軍に編入されたため、その戦勝記念に善通寺の南大門が再建されました。善通寺市の風景には、軍都の遺物がとけ込んでいます。

世界遺産になった道をつなぐ街

世界遺産に登録された古代ローマの遺跡は数多くありますが、異民族の破壊を免れて古代ローマの都市を色濃く残すものがあります。イタリアのベスビオス火山の火山灰で埋もれたポンペイやアルジェリアの砂に沈んだティムガッドは、その好例になります。



ローマ軍の兵舎跡（英カーリアン）
一軍団 6000 人、一兵舎 100 人

ローマ軍の兵舎跡（英カーリアン）



旧騎兵第 11 連隊兵舎（四国学院大学 2 号館）

旧工兵第 11 大隊正門（乃木神社内に移築）

街をつくる軍団

古代ローマの陸軍は、レギオー（軍団）と呼ばれるローマ市民権をもつ 6000 名程度の兵で構成されていました。彼らは戦争のみでなく、高い土木技術によってローマ街道の敷設や修理を行ないました。他に、石

橋や水道橋なども建造し、世界遺産に登録された建造物も少なくありません。ローマ帝国は、ローマ軍団を各地へ派遣し、軍事拠点兼ねた宿営施設を建設して拡大したため、ローマ帝国が滅亡しても、その宿営地はしばしばヨーロッパ屈指の大都市へと発展しています。

第 11 師団にも、野戦築城、道路や橋の建造などを専門とする工兵隊が編成されていました。師団の帰還地だった善通寺では、工兵隊が街を建設することはありませんでしたが、訓練を受ける兵士の宿舎が設けられ、今は大学の校舎などになっています。



善通寺南大門

偕行社前庭

和洋折衷の妙

善通寺偕行社は、玄関に特徴のあるルネサンス風の建造物といわれます。玄関ポーチはロータリーに接続され、馬車や自動車による送迎が行なわれました。その手前には、松などの植込みのある庭が広がります。手入れの行き届いた松が高低差のある自然な松林をつくっています。石製でない、木造の洋館と大名庭園を彷彿とさせる和風の前庭が、新しい文化を取込もうとする意気込みを感じさせます。



御野立公園

善通寺市の街並に大きな影響を与えた陸軍特別大演習の記念碑が御野立公園にあります。当時皇太子だった昭和天皇が、ここで演習を統括しました。

季節がめぐる街の公園

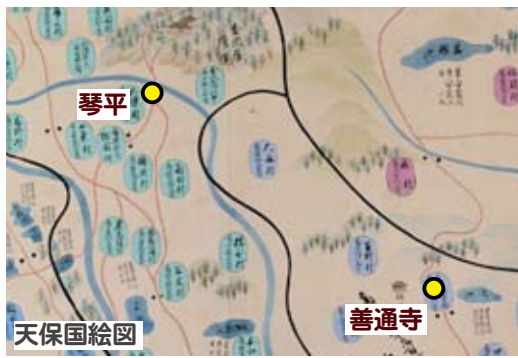
庭園、ひとくちメモ（15）

古くから馬車を乗物として利用してきたヨーロッパでは、教会や宮殿、貴族の居館の張出し玄関に、しばしば送迎用のロータリーが設けられ、その内部には植込みや噴水が置かれました。こうしたものは、イギリス国教会を創始したヘンリー 8 世最後の王妃キャサリン・パーが過ごしたスードリー城にも見られます。貴族の庭園には、イチイの垣根に囲まれた秘密性の高い庭園が造られました。貴族の庭園の楽しみ方の一つでした。



スードリー城（英国）
シークレット・ガーデン（写真下）

比べてウォッチ！



街道と鉄道の交差点

江戸時代、琴平は金毘羅宮の参拝用の街道の交差点にありましたが、善通寺には麻村に向かう街道のみでした。金毘羅宮の参拝者が増え、天保年間に多度津港が改修されると、善通寺市は四国遍路道と金毘羅街道の交差点に位置するようになりました。陸軍第11師団が設置されると、その影響によって、鉄道が交差する街になりました。現在は、高速道路のインターチェンジが整備され、遠方からの来訪者で賑わいます。



風景をたのしむまめ知識



鉄道草

明治期に日本に侵入した北アメリカ原産の一年生雑草に、ヒメジョオンがあります。当初、鉄道沿線によく見かけられたことから鉄道草ともいわれます。これによく似たものにハルジオンがあります。こちらは多年生で、茎の内部が空洞になっているので区別できます。いずれも春に花を咲かせます。これらの名前は、古い時代に中国から渡来したシオン（紫苑）に由来します。こちらは大型の栽培植物で、秋に咲き、観賞用や仏花などに利用されます。

ヒメジョオンやハルジオンの名前の由来になったシオンの大きな花は、よく似ていますが、近縁種ではありません。

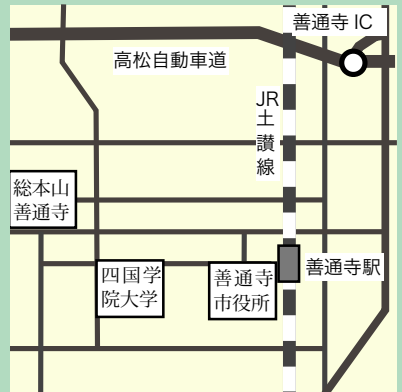
持ち物リスト		
服装	登山グッズ	その他
<input type="checkbox"/> 帽子	<input type="checkbox"/> 地図	<input type="checkbox"/> 非常食
<input type="checkbox"/> 防寒着	<input type="checkbox"/> 雨具	<input type="checkbox"/> 救急セット
<input type="checkbox"/> 長袖シャツ	<input type="checkbox"/> 飲料水	
<input type="checkbox"/> バックパック	<input type="checkbox"/> ビニール袋	
	<input type="checkbox"/> タオル	
	<input type="checkbox"/> ティッシュ	

散策の心得

- ・履きなれたシューズで出かけよう。
- ・自分のペースでゆっくり歩こう。
- ・暑い日には、帽子をかぶろう！
- ・飲み物も携帯しよう！
- ・車には十分注意しよう。
- ・ゴミは必ず持ち帰ろう。
- ・ペットの糞対策も忘れずに！



アクセス



バック・ナンバーは左のHP「散策 善通寺」より閲覧できます。

<http://shigakuweb.jindo.com>

制作・お問い合わせ

四国学院大学・四学ウェブ
(shigakuweb@yahoo.co.jp)

制作協力

善通寺市役所土木都市計画課
(Tel. 63-6314)

参考文献

みちくさ遍路 2001

